

# 自己評価結果等の公表

事業所名 金沢市障害児通園施設ひまわり教室

## 児童発達支援事業（I部）評価の集計結果

### 1. 保護者からの児童発達支援事業（I部）評価の集計結果 保護者等数12人 回収数12人 割合100%

#### 環境・体制整備

①子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか はい12 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 「活動スペースが広く、走り回ったり大きな遊具を出しても十分な広さがあると思う。」「活動によって部屋がわかれているので活動部屋は十分に広いと思う。」「スペースが広いので、子ども達がのびのび活動している感じがする。」「十分だと思います。」
②職員の配置数や専門性は適切であるか はい10 どちらともいえない2 いいえ0 わからない0 意見 「少し人数が足りないのかな？と思うこともあります。」「職員は連絡帳を記入する時間を確保するのが大変そうである。何かいい方法はないのか。」「いつも手厚く見ていただいている。研修なども定期的に行っている様子。」「夏休みなど、II部の子ども達と一緒に時は少し人数不足を感じる時もあるが、普段の時は適当だと思う。」「ちょうどいい人数だと思います。」
③生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか はい12 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 「施設内は段差がなく、廊下や部屋の出入り口も広くなって安心できる。」「家より広いので本人にとってものすごくいい運動になっていると思います。先生がずっと横についてくださっているので安心です。」
④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか はい11 どちらともいえない1 いいえ0 わからない0 意見 「活動に応じて環境設定しているのが活動しやすそう。」「昼食後、いつもとてもきれいに掃除してくれているのでうれしい。」「清潔で掃除が行き届いていると思います。嫌な匂いなどしないので嬉しいです。」「清潔ですが、お手洗いが少し古いイメージです。」

\*ひまわり教室では、保育に関わる職員は基本的には8人です。毎日7、8人を配置しており、日によってはもう1、2人を追加して配置することもあります。全員が児童指導員で、他に保育士・介護福祉士を有しています。

#### 適切な支援の提供

⑤子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか はい11 どちらともいえない1 いいえ0 わからない0 意見 「丁寧に記録されていて説明していただいているので安心感があります。」「出来ること出来ないことがちゃんと書かれているので、家での生活にも何をしたら良いか分かって良い。」
⑥児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか はい8 どちらともいえない1 いいえ0 わからない2 未回答1 意見 「(ガイドラインの) 児童発達支援計画をあまり意識していないし、する機会もないので、わからない。」
⑦児童発達支援計画に沿った支援が行われているか はい11 どちらともいえない0 いいえ0 わからない1 意見 「出来ることが増えてきたので助かっている。」「児童発達支援計画をあまり意識していないし、する機会もないので、わからない。」
⑧活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか はい10 どちらともいえない0 いいえ0 わからない1 未回答1 意見 「同じ活動内容でも、使っている用具を変えて行ってくれていて、変化があって良いと思う。」「メインの活動は、ある程度決まっている様子だが、その日の子ども達の興味から遊び方で、いろいろなことを展開しているので、とても工夫されている。」「例えば、同じ設定の遊びの中でも使うものや使い方を個々に合わせて臨機応変に対応していて、子どもたちも飽きること

なく楽しめるよう工夫されている。」「毎日楽しい企画をありがとうございます。」
⑨保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか はい9 どちらともいえない1 いいえ1 わからない1 意見 「定期的に交流があります。「今のところ機会はないです。」「活動する機会が増えると嬉しいです。」 「障害のない子ども達とふれあえるのは、刺激になってとても良いと思う。」

\*教室では、近くの幼稚園に、職員と子どもが仗付で「交流保育」に出かけています。行く子は入室順になっています。また、幼稚園の子どもたちが教室に遊びに来ることも何回かあります。さらに障害のない子どもたちと共に過ごせる機会が作れないか考えていこうと思います。

保護者への説明等

⑩運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか はい12 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 「きちんと説明があった。」
⑪児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか はい11 どちらともいえない0 いいえ0 わからない1 意見 なし
⑫保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか はい11 どちらともいえない1（保護者の都合により） いいえ0 わからない0 意見 「学習会は、親が気付かないことを教えてくれたり、指摘してくれるので助かる。」「困ったことがあると助言していただいですごく助かりました。」
⑬日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか はい12 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 「連絡帳や送迎時に、毎日の教室での様子を教えてくれるので、どんな活動をしているのか分かってうれしい。」「今日の様子がわかるので嬉しいです。」「小さなことでも報告してくれて、保護者からも話しやすい雰囲気を作ってくれている。」「連絡帳もそうですが、帰って来た時に、その日の様子を直接聞くことができます。」
⑭定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか はい12 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 「育児の相談を気軽にできて、悩みも聞いてくれるのでうれしい。」「仕事をしている為、相談日が月1回ですがありがたいなと思っています。」「父親にももっと参加する機会があればと思います。」「決まった面談の時間をとってくれるだけではなく、日ごろからコミュニケーションをとってくれている。」「月に2回程度、職員さんと話す機会があるので、相談しやすい。」「相談の時間は私にとって大切なので、ぜひ続けてほしい。」「育児の相談を気軽にできて、悩みも聞いてくれるのでうれしい。」
⑮父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか はい11 どちらともいえない1 いいえ0 わからない0 意見 「わからないことがあるとすぐに質問に答えて下さるので助かっています。」「同じ環境の親達の話聞けるのは、自分のはげみにもなるので助かる。」
⑯子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか はい12 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 なし
⑰子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか はい12 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 「連絡帳や口頭で、すぐに教えてくれるので良い。」「外傷をした時、職員全員に伝わっていないことがあり、たいしたことはありませんでしたが、少し不安に思いました。」
⑱定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか はい12 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 「必要に応じて便りが出ている。」「会報は、親はもちろん、本人も楽しみにしています。」「おたよりで日頃の様子が（写真付きなどで表情もわかる）わかるので嬉しいです。」
⑲個人情報の取扱いに十分注意されているか

はい11 どちらともいえない0 いいえ0 わからない1

意見 「文集はたくさんの個人情報があるのでいろいろな所に配るのは大丈夫なのかなと思っています。」

\* 文集は他の人の個人情報をのせているわけではなく、それぞれの保護者が自らの経験や思いを述べているものです。わが子に障害があることを受け止めて社会の中で生きていくこと、その親の思いを広くいろんな人たちに知ってほしいこと、年に1回文章にすることで気持ちの整理もできること、などを思って、毎年文集を作っています。

\* 指摘を受けたことに関しては迅速に対応しているつもりですが、時に全員にすぐに情報が行き届かないことがあり、その点は今後改めていきます。

#### 非常時等の対応

⑩緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか

はい10 どちらともいえない2 いいえ0 わからない0

意見 「マニュアルが常に、毎日持ち出せるファイルに入っていて、いつでも確認できるので良い。」「マニュアルを目にしたことがない。避難訓練は保護者も一緒に一度行った。」

⑪非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか

はい10 どちらともいえない2 いいえ0 わからない0

意見 「訓練の様子なども便りを通して連絡がある。」

\* 火事を想定した避難訓練を、119番にも連絡をして行っています。また今年度から、法人の別の施設の人が手伝いに入る練習も行っています。年に1度、幼児用の人形を使つての救急法の講習会も、お母さんの学習会にて行っています。

#### 満足度

⑫子どもは通所を楽しみにしているか

はい11 どちらともいえない0 いいえ0 わからない1

意見 「とっても楽しみにしている。」「それぞれに合った遊び、支援をしてくれるだけではなく、子ども一人一人に愛情をもって接してくれるので、子どもも安心して毎日楽しく通っている。」「『ひまわり』の言葉を理解して毎朝楽しみにしています。」「毎日、今日はひまわり教室へいくのかとたずねてくるくらい楽しみにしている。」「通所のことを理解しているか不明ですが、ひまわりで楽しそうにしているうれしいです。」「お休みの日でもいつ行くの?と聞いてきて、教室に行く日を楽しみにしています。」

⑬事業所の支援に満足しているか

はい11 どちらともいえない1 いいえ0 わからない0

意見 「いつも丁寧にみていただいて息子もとても喜んで通っていて成長・発達もぐんぐん伸びてきていてとてもありがたいです。」「こんなに保護者と子どものことを考えてくださるところはないだろうかと、大変満足しています。」「子どもがいろんな事を出来るようになったので、大変満足している。」「とても満足しています。」

<回答の分析結果は次の通り>・質問は5つの項目に分かれていて、全部で23個の問い。

表1 「保護者等からの児童発達支援事業評価の集計結果」

( )内はパーセント

	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	回答なし	合計
環境、体制整備 (①～④)	45 (93.8)	3 (6.2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	48 (100)
適切な支援の提供 (⑤～⑨)	49 (81.7)	3 (5.0)	1 (1.7)	5 (8.3)	2 (3.3)	60 (100)
保護者への説明等 (⑩～⑱)	116 (96.6)	2 (1.7)	0 (0)	2 (1.7)	0 (0)	120 (100)
非常時等の対応 (⑳～㉑)	20 (83.3)	4 (16.7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (100)
満足度 (㉒～㉓)	22 (91.6)	1 (4.2)	0 (0)	1 (4.2)	0 (0)	24 (100)
合計	252 (91.3)	13 (4.7)	1 (0.4)	8 (2.9)	2 (0.7)	276 (100)

## 2. 事業所からの児童発達支援事業 (I部) 自己評価結果 職員数 7人 回収数 7人 割合 100 %

### 環境・体制整備

①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である

はい7 いいえ0

工夫して ・玄関から廊下は大きめに作ってあるので、子どもたちはよくプラカーを乗り回したり、走り回ったりしています。

いる点	ベランダから外の広場や屋上へ出て遊ぶこともあります。全体的にゆったりしていると思います。
② 職員の配置数は適切である	
はい7	いいえ0
工夫して	・フルタイム職員6人に加え、日によっては、2人～4人のパート職員を配置しています。医療的ケア（以下医ケア）の必要な子どもに対しても、医ケアができるように8人の職員が研修を受けて対応しています。医ケアの必要な子どもが来る日は職員の配置数を特に気にかけています。夏休みには、職員の数を増やしています。
いる点	
③生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	
はい7	いいえ0
工夫して	・建物自体がバリアフリー化されています。ただ、水道は子どもたちが自分で蛇口をひねって水を出せるように、自動にはしていません。玄関の扉も手動です。すべてがバリアフリーでは、子どもたちが自分の力を使う機会を奪ってしまうこともあるので、気をつけています。
いる点	・一日の流れにのっとって、スケジュールが子どもたちに伝わりやすくなっていると思います。
④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	
はい7	いいえ0
工夫して	・毎日拭き掃除をし、清潔を保つようにしています。
いる点	・ままごとや道具、ボール、積木などを、子どもたちが自分で取り出しやすいような場所に置くなど遊びやすい環境づくりを工夫しています。遊ぶ部屋と食事の部屋を別にするなど活動によって空間を変えています。

#### 業務改善

⑤業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	
はい7	いいえ0
工夫して	・職員ミーティングを毎週1回行い、子どもの確認・業務の確認等、いろいろな情報の共有を行っています。改善すべきところは職員全員で取り組んでいます。
いる点	・パート職員については、ミーティングノートをもっと活用したいと思います。
⑥保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	
はい7	いいえ0
工夫して	・従来から保護者からの指摘や要望があった時には速やかに改善を行ってきました。
いる点	・評価していただくことで、さらに皆さんからの声を聴くことができ、有難いと思っています。
⑦事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	
はい7	いいえ0
工夫して	・今年度も児童発達支援事業と放課後デイサービス事業について、自己評価を行い、ホームページに掲載します。
いる点	・教室で発行している「教室だより」にも公開しています。
⑧第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	
はい7	いいえ0
改善目標	・今年度、アンケート結果をもとに、教室の取り組みに対して、外部の第三者委員に評価をしていただきます。それをもとに、改善すべきところは改善していきます。
⑨職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	
はい7	いいえ0
工夫して	・実践検討会を毎年2回行っています。また、各研修の機会があれば参加しています。
いる点	・県外で先進的な取り組みが行われている所へ研修に行くなどしています。

#### 適切な支援の提供

⑩アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	
はい7	いいえ0
工夫して	・日々の記録をもとに2か月に1回、「振り返りと課題の確認（まとめ）」を行っています。それをもとに、その後の
いる点	支援について全員で確認し、文書化しています。

<p>⑪子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している</p> <p>はい7    いいえ0</p> <p>工夫して    ・「津守・稲毛式乳幼児発達検査表」を用いて発達検査を行っています。必要に応じて検査を利用して子どもの育ち</p> <p>いる点        の確認を行っています。保護者からの聞き取り用の個人表はひまわり教室で作成したものを使用しています。</p>
<p>⑫児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている</p> <p>はい7    いいえ0</p> <p>工夫して    ・教室で行っている支援の多くは、ガイドラインで示す支援内容から子どもの支援に必要な項目を適切に選択した、</p> <p>いる点        具体的な支援内容となっています。</p>
<p>⑬児童発達支援計画に沿った支援が行われている</p> <p>はい7    いいえ0</p> <p>工夫して    ・⑩にもとづいて、一人ひとりに必要な支援をしています。「日常生活」・「体」・「手指」・「人間関係」「興味</p> <p>いる点        関心」・「理解」・「情動」等に分けて、各々のねらいを設定し、それに沿って支援しています。</p>
<p>⑭活動プログラムの立案をチームで行っている</p> <p>はい7    いいえ0</p> <p>工夫して    ・活動プログラムの立案をチームで行っています。年度初めに、職員全員で年間のいろいろな係を決めています。そ</p> <p>いる点        の係の担当が責任をもって進めていきます。日頃の設定遊びの内容と係は週末に決めています。</p>
<p>⑮活動プログラムが固定化しないよう工夫している</p> <p>はい6    いいえ1</p> <p>工夫して    ・活動のさまざまな場面で、一人ひとりの子どもの課題を意識して関わっています。感覚運動的な遊びを中心に、子</p> <p>いる点        どもたちの興味を引く、より参加のしやすい場面作りや遊具の準備などをして思う存分遊ぶことができるようにし</p> <p>改善目標    ・使う遊具や遊びなどが固定化しているきらいもあるので、これからも工夫を重ねます。</p>
<p>⑯子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している</p> <p>はい7    いいえ0</p> <p>工夫して    ・その日その日の子どもの状況に応じて、集団遊びと個別の遊びを織り交ぜて活動しています。「朝のあいさつ」・</p> <p>いる点        「設定遊び」・「食事」など集団での活動を基本にしつつ、必要に応じて一人ひとりの個別の援助を大切にしてい</p> <p>ます。本人が集団に入ることが難しそうなどときなど、無理なく参加できるようにその時々で工夫しています。</p>
<p>⑰支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している</p> <p>はい7    いいえ0</p> <p>工夫して    ・毎朝、職員で1日の打ち合わせを行い、連絡帳の内容の確認・情報の共有、職員の動き方、その日の予定などを出</p> <p>いる点        し合っています。特に気にかけている子の様子なども確認し合っています。</p>
<p>⑱支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している</p> <p>はい4    いいえ3</p> <p>工夫して    ・支援終了後に全員で打ち合わせをする時間をとることが難しい面があります。</p> <p>いる点        ・ただ必要に応じて、必要な事項の確認を心掛けています。送迎やほかの確認事項はメモや電話でその場にいらない職</p> <p>員に伝えられます。</p>
<p>⑲日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている</p> <p>はい7    いいえ0</p> <p>工夫して    ・毎日の記録をつけています。その記録を参考に2か月に1回「振り返りと課題の確認（まとめ）」をして、それをも</p> <p>いる点        とに保育実践を行っています。</p>
<p>⑳定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している</p> <p>はい7    いいえ0</p> <p>工夫して    ・一人ひとりの子どもについて、「振り返りと課題の確認（まとめ）」を2か月に1回行っています。必要がある場合</p> <p>いる点        はその機会に関わらず、必要な事項について確認して活動に生かしています。</p>

関係機関や保護者との連携

<p>㉑障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している</p> <p>はい7    いいえ0</p>
--

工夫して いる点	・サービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しています。
②母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている はい5 いいえ2 工夫して いる点	・定期的にはあまり行っていません。連携が必要な場合は、病院へ行ったり、行政とも連携をとったりして支援を行っています。
③（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている はい7 いいえ0 工夫して いる点	・医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合、医療との連携は必須です。また、通っている子が次に行く保育園や幼稚園、学校には、引き継ぎの書類を作成し渡しています。必要に応じて時間をかけて話をすることもあります。
④（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている はい7 いいえ0 工夫して いる点	・連絡体制を整えています。書類も作成し、医療行為の研修もしています。嘱託医とも連携をしています。 ・緊急体制も整えて、表にして毎日持ってくる鞆に入れておくようにしています。
⑤移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている はい7 いいえ0 工夫して いる点	・通っている子が次に行く保育園や幼稚園・学校には、引き継ぎの書類を作成し渡しています。話をするこもあります。必要に応じて見学に来ていただいたり、こちらから出向いたりしています。
⑥移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている はい7 いいえ0 工夫している点	・基本的に⑤と同じです。相談支援の担当者会議にも出席しています。
⑦他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている はい1 いいえ6 工夫している点	・定期的にはしていません。相談支援の担当者会議に出席することがあります。
⑧保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある はい7 いいえ0 工夫して いる点 改善点	・ひまわり教室の近くの幼稚園と交流保育をしています。幼稚園の子どもたちが教室の方に遊びに来ることもあります。 ・公園や児童館へ遊びに行ったり、バスに乗ったり、ショッピングセンターへ行ったりと、障害のない子どもと活動する機会を作っています。 ・今後さらに障害のない子どもたちとどのような交わりが可能か、考えていきます。
⑨（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している はい3 いいえ4 工夫して いる点	・金沢市の場合、協議会に参加する機会がほとんどありません。 ・障害児通所支援事業所連絡会に参加しています。
⑩日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている はい7 いいえ0 工夫して いる点	・送迎時に話をしたり、連絡帳のやり取りをしたりして、その日にあったことなどを確認し合っています。 ・月に1、2回個人相談の時間を設けています。そこでさまざまな事柄について話し合っています。 ・個別支援計画について2か月に1回、課題などについて確認をしています。子どもの発達の状況や課題についてかなり共通理解ができていると思います。
⑪保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている はい6 いいえ1 工夫して いる点	・「家族支援プログラム」といった決まったものにもとづいてやるのではなく、一人ひとりの様子に合わせた援助と協力をしています。

保護者への説明責任等

<p>⑳ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている</p> <p>はい7 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・入室時に行っています。</p>
<p>㉑ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている</p> <p>はい7 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・子どもたち全員について、2か月に1回個別支援計画を作成しています。2か月間の取り組みと子どもの変化について振り返り、これからの課題などを職員で話し合っています。その記録をもとにお母さんと話し合い、確かめ合っています。</p>
<p>㉒ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている</p> <p>はい7 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・何かあった場合はいつでも話を聴くことを伝えてあります。実際お母さんたちが相談に来ています。また送迎の時に必ず子どもたちのその日の様子を話しています。また、連絡帳のやり取りをしてその日にあったことを確認合っています。</p> <p>・月に1、2回ある個人相談の時や、月に1回行っている学習会の時などに子育ての悩みなどが出されるので、一緒に考えています。個別支援計画について2か月に1回、課題などについて確認をしています。</p>
<p>㉓ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している</p> <p>はい7 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・月に1回（主に）母親の学習会を行っています。児童発達支援と、放課後等デイサービスを利用しているお母さんたちで、参加できる人たちが集まっていますが、お母さんどうしの連携はできています。また、年に数回ある行事は、お父さんも参加しやすいように日曜日に行っています。家族どうして楽しい時間を過ごしています。年に1回秋に、「お父さんの会（父母合同学習会の場合もあります）」を開いています。就学や子育てについて、先輩のお父さんや学校の先生に来ていただいて話をお聞きしています。</p>
<p>㉔ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している</p> <p>はい7 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・何かあった場合はいつでも話を聴くことを伝えてあります。実際お母さんたちが相談に来ています。</p>
<p>㉕ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している</p> <p>はい7 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・2か月に1回「教室だより」を発行して、いろんな人たちに読んでもらっています。また、家族向けに「でこぼこ通信」を年に12回以上発行しています。子どもたちの様子を中心に、活動概要や行事予定、連絡体制なども発信しています。</p>
<p>㉖ 個人情報の取扱いに十分注意している</p> <p>はい7 いいえ0</p> <p>・十分に注意しています。今後も個人情報の取扱いに十分注意していきます。</p>
<p>㉗ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている</p> <p>はい7 いいえ0</p> <p>・㉑～㉔に書いてある通り、配慮しています。</p>
<p>㉘ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている</p> <p>はい7 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・見学の希望には随時応えています。</p> <p>いる点 ・毎年、「共生の文化講座」を開き、市民にむけてインクルーシブな社会の実現に関心を持ってもらえるように努めています。</p>

非常時等の対応

<p>㉙ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している</p> <p>はい7 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・緊急時対応マニュアル・防災計画・感染症対応マニュアル・緊急時対応表など、子ども一人ひとりの医療ノートと共に、毎日持ってくる袋に入れておくようにしています。</p> <p>いる点 ・非常用電源として、車用の大きな容量の電源を用意してあります。</p>
---

<p>・避難訓練は火事を想定して行いました。法人の方から手伝いが入る訓練も行っています。</p> <p><b>改善点</b> ・子どもたちの緊急対応用の訓練をしていきたいと思います。</p>
<p>④②非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている</p> <p><b>はい7</b>    <b>いいえ0</b></p> <p><b>工夫して</b> ・避難訓練は火事を想定して行いました。法人の方から手伝いが入る訓練も行っています。</p> <p><b>いる点</b> ・上記のほか、毎年、同じ建物を利用している事業所、法人と共に、2回避難訓練をしています。</p>
<p>④③事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している</p> <p><b>はい7</b>    <b>いいえ0</b></p> <p><b>工夫して</b> ・子どもたち一人ひとりについて「医療ノート」を作成し、服薬の様子や発作のことなどを書いていただいています。</p> <p><b>いる点</b>    ます。また、予防接種の書類のコピー・何かあった時のための緊急時対応表なども作成し、毎日持って来る鞆に、常に入れておくようにしています。</p>
<p>④④食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている</p> <p><b>はい6</b>    <b>いいえ1</b></p> <p><b>工夫して</b> ・アレルギーの有無は家族の人から聞き取りをし、確認しています。現在は対象児が1名いますが、医師の指示書</p> <p><b>いる点</b>    はありません。家から持ってきた食べ物以外は食べさせないという対応をしています。これから、医師の指示書に基づく対応の必要な子の場合、医師の指示書に基づく対応をしていきます。</p>
<p>④⑤ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している</p> <p><b>はい4</b>    <b>いいえ3</b></p> <p><b>工夫して</b> ・ヒヤリハット事例集は作成していません。日々記録しているケースに書いています。ヒヤリハットの案件があ</p> <p><b>いる点</b>    った場合は職員で集まって、起こった理由やこれからの対処法などについて確認しています。またケースは2カ月に1回個別支援計画を作成しているの、職員間での共有はできています。</p> <p><b>改善目標</b> ・ヒヤリハットが起こった場合、事例集に書き込んで、事業所内で共有するようにします。</p>
<p>④⑥虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている</p> <p><b>はい7</b>    <b>いいえ0</b></p> <p><b>工夫して</b> ・虐待を防止するため、職員の研修機会を確保しています。毎年、県と金沢市で行われるので、それぞれ参加して</p> <p><b>いる点</b>    います。職員ミーティングで報告しています。</p>
<p>④⑦どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している</p> <p><b>はい7</b>    <b>いいえ0</b></p> <p><b>工夫して</b> ・座位保持椅子のベルトで子どもの姿勢を固定することがあります。座位保持椅子や車椅子を使用している子ども</p> <p><b>いる点</b>    の保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で行っています。</p>

<回答の分析結果は表2の通り>

表2 「事業所からの児童発達支援事業評価の集計結果」

( ) 内はパーセント

	はい	いいえ	合計
環境、体制整備 (①～④)	28 (100)	0 (0)	28 (100)
業務改善 (⑤～⑨)	35 (100)	0 (0)	35 (100)
適切な支援の提供 (⑩～⑳)	73 (94.8)	4 (5.2)	77 (100)
関係機関や保護者との連携 (㉑～㉓)	64 (83.1)	13 (16.9)	77 (100)
保護者への説明責任等 (㉔～㉖)	63 (100)	0 (0)	63 (100)
非常時等の対応 (㉗～㉙)	45 (91.8)	4 (8.2)	49 (100)
合計	308 (93.6)	21 (6.4)	329 (100)

< I 部(児童発達支援)保護者評価について >

この種のアンケートの回答として「はい」(肯定的評価)が高くなるのは当然のことですが、とは言え、今年度も昨年同様に総合的にかなり高い率で「はい」と答えていただき、ありがとうございます(I部は同率、II部は微増)。

ただ細かく見ていくと、今後の課題とすべき点はいくつかあります。その点について少し述べます。

「適切な支援の提供」の中で「はい」の回答率が低かったのは、「障害のない子とふれ合う機会について」でした。「いいえ」の回答が1つありました。この点については、来年度の課題にしていきたいと思います。また、ガイドラインの内容を、保護者に説明する



時の資料に盛り込む必要があるのかもしれないと思いますので、これからの検討課題とします。

< 1 部(児童発達支援)事業所自己評価について >

「環境、体制整備」「業務改善」「保護者への説明責任等」「保護者との連携」といった領域については、職員が日頃からとても気にかけて取り組んでいるので、自ずと自己評価が高くなっています。

「関係機関との連携」は、「いいえ」が多くなっています。日常的には関係機関との連携は積極的には行っていません。必要のある時に必要に応じて連携しています。今年度から障害児通所支援事業所連絡会に参加しています。

「非常時等の対応」については、今年度はかなり意識的に取り組みました。ただ「ヒヤリハット」の事例集についてはきちんと用意されていないので、早急に用意したいと思います。

## 放課後等デイサービス事業（Ⅱ部）評価の集計結果

### 1. 保護者からの放課後等デイサービス事業（Ⅱ部）評価の集計結果 保護者等数27人 回収数27人 割合100%

#### 環境・体制整備

① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか はい27 どちらともいえない0 いいえ0 意見 「遊びの部屋や食事の部屋などきちんと別々になっていていい。」「ろうかの広さもほどよくあり、開放感があります。」「広くてトランポリンもあるので、子供も喜んでいます。」「おもちゃなども棚に整理されていて広々としている。」「のびのび活動ができていると思う。」
② 職員の配置数や専門性は適切であるか はい26 どちらともいえない1 いいえ0 意見 「先生に対する子供の人数は安心してしています。」「一人一人目が行き届いていいと思います。」「保育士と介護士の MIX の配置は良いと思う。プラス看護師がいるとさらに良いと思う。」「男性・女性もそろっているし、手話ができる人がいるなど適切。」「専門性は適切だと思います。配置数は子どもの人数がよくわからないので（どちらともいえないにします）。」「どの先生も熱心であたたかい保育をしてくださいます。」「宿題なども助かっています。」
③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などのバリアフリー化の配慮が適切になされているか はい26 どちらともいえない0 いいえ0 未回答1 意見 「（未回答なのは）保護者としてあまり知らないので今後確認したいと思います。」「トイレなど広さがあることや、バリアフリーになっている。」「いろんな座位保持椅子や歩行器などがあり、子に応じて使用させてもらえるので助かります。」

#### 適切な支援の提供

④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか はい24 どちらともいえない3 いいえ0 意見 「相談にもいつでも応じてくださいます。」「はめ板・はめ絵などの支援はためになり、嬉しく思っています。」「日頃の子供の行動及び勉強会での相談を活用させていただいています。」「放課後等デイサービス平日にもう少し入れたらいいと思う。」「（通い始めて間もないので）わからない。」
⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか はい23 どちらともいえない4 いいえ0 意見 「毎日の遊びの内容が違っていい。」「天気の良い日に遠出して下さるなどたくさんの工夫があります。」「ややマンネリの所もあるかな!!」「バス等は普段乗せていないので社会性の訓練も有難うございます。」「毎日設定遊びを考えてされている。」「いろいろな体験をさせていただきありがとうございます。」「事業所以外の色々な場所にも連れて行ってきている。子どもに色々な経験をさせてくれてとてもありがたい。」「いろんな活動があつて子も楽しそうです。」
⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか はい20 どちらともいえない7 いいえ0 意見 「交流がもっと多くなれば良いと思います。」「月に1、2回の利用なので（どちらともいえない）」「I部の時のような具体的な交流がすぐに思いつきませんでしたが、幼稚園のバザーに参加したり特別なプログラムでなくても自然と交流していることを思い、『はい』に変えました。」「近くの幼稚園などに行き来して交流がある。」「若草幼稚園との交流がある。」「今後、交流の機会をどんどん増やしてほしい。」「この評価表はどこで作成したのでしょうか？金沢市？ひまわり？地域の中学校に通っているのですが、逆に児童館や障害のない子どもの団体にこの質問をしているのか知りたいです。もししていないのなら、障害児を担当している施設にだけ求めるのはおかしいと思います。」

「これからもいろんな子と関わっていただけたいと思います。」

## 保護者への説明等

<p>⑦支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか</p> <p>はい24 どちらともいえない3 いいえ0</p> <p>意見 「キャンセル料が始まったことを知らず、前日キャンセルで支払うことがあった。」「とても丁寧でした。」「連絡帳などいつも楽しみにしています。」</p>
<p>⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか</p> <p>はい26 どちらともいえない1 いいえ0</p> <p>意見 「全職員に浸透していないなど感じる 때가時折?あります。」「お迎え時、相談に乗ってもらっています。」「常に相談しやすい雰囲気がある。大きな困りごとや悩みがなくてもひまわりの先生には話しやすく、知ってもらえている安心感があります。」「家まで送ってくれた際に、その日一日の様子やどこで何をしたか等つたえてくれるので、発達状況がわかりやすい。」「定期的な子どもの現在の状況、今後の課題などをまとめたものをくれていい。」「直接お話を聞いたり連絡帳でやり取りできる。」「時々利用なので、こちらから伝えきれていないこともあるかもしれません。」</p>
<p>⑨保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか</p> <p>はい24 どちらともいえない3 いいえ0</p> <p>意見 「(個人面接の時間が)I部の時より少ないので、II部の時もこの機会があると嬉しいし、助かる。」「勉強会にてご意見またお願いします。」「小学校に上がって利用も少なくなったが、送迎時に近況を伝えてアドバイスをもらっている。」「定期的な面談がある。」「相談する日をもうけてくれている。聞きたいことはすぐに聞ける。」「いつも話をよく聞いてくれて、的確なアドバイスと背中を押してくれることがありがたく思います。」「毎月学習会があり、相談できる。」「II部でも、時々当番や面談の日があったら嬉しいです。」</p>
<p>⑩父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか</p> <p>はい27 どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>意見 「父親の会や母親の会があり、悩みを相談できる。」「毎月1回の学習会や、学校の先生を招いた会など、多数の開催があります。」「学習会などでたくさんの保護者の方に合えたり、話をできたりするのはありがたいです。」「あまり参加出来ていませんが、定期的に学習会やほかの家の方と顔を合わせたり、話を聞ける機会があるのはありがたい。」「父母合同学習会はとても勉強になり、よい機会なので、今後もつづけて開いてほしい。」「積極的な保護者交流や勉強会があり、とても助かります。」「いつ開催されているか、きちんと把握していないので、出席できるときはしてみたい。」「保護者のつながりは、かえって求めません。理由は保護者活動が多すぎると用事が出来ないのです。」「学習会や親の会があります。」「学習会などで他のお母さんたちと会えて、心強いです。先輩ママさんの話をもっと聴きたいです。」</p>
<p>⑪子どもや保護者からの苦情について、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応されているか</p> <p>はい23 どちらともいえない4 いいえ0</p> <p>意見 「何か起きたことはありませんが、対応が迅速。」「経験がなくわかりません。」</p>
<p>⑫子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか</p> <p>はい27 どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>意見 「毎回子供の様子を教えてください。」「連絡帳をしっかり書いてくれる。」「子供の様子を先生から教わり、また対処につなげています。」</p>
<p>⑬定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか</p> <p>はい26 どちらともいえない1 いいえ0</p> <p>意見 「お便りが定期的に出ます。」「毎月お便りが届き、活動の様子がわかる。」「教室だよりやつながりの会報などで情報がわかります。」「お便りがしっかりある。」「会報で様々な情報を知っています。」「活動内容が事前にわかれば、それに応じて支援の日を選べるのでありがたいです。」「II部でも、たまにでこぼこ通信みたいなものがあつたら嬉しいです。」</p>
<p>⑭個人情報の取扱いに十分注意されているか</p> <p>はい26 どちらともいえない1 いいえ0</p> <p>意見 「すみません。よく知らないです。」</p>

\*キャンセル料(欠席時対応加算)は今年度の10月からあらためて始めました。II部の人たちに対しての説明不足でした。すみません。今後は周知します。

\*II部に関して、個人相談は希望がある場合に行っています。希望に沿うようにしていきます。

\* 今後、II部についてもお便りを出して、活動の様子をお知らせしていきます。

#### 非常時等の対応

<p>⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか</p> <p>はい26 どちらともいえない1 いいえ0</p> <p>意見 「すみません。私がよく知りません。」「マニュアルがしっかりしているので良いと思います。」「今年度は連絡帳やお便りで様子がよくわかりました。」</p>
<p>⑯非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか</p> <p>はい27 どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>意見 「行われている。」「これは大切なことなので、今後も定期的に行って、つづけてほしい。」「今年度は連絡帳やお便りで様子がよくわかりました。」「訓練の様子がわかりました。」</p>

\* 緊急時対応表、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを、子ども一人ひとりの医療ノートと共に、鞆に入れて置くようになっています。

#### 満足度

<p>⑰子どもは通所を楽しみにしているか</p> <p>はい25 どちらともいえない2 いいえ0</p> <p>意見 「時々利用ですが、行ったら楽しそうです。」「休みの日も行きたがり、帰宅後は満たされた様子です。」「異年齢、様々な障害の子たちとの触れ合いが、社会性を学ぶ機会となっています。思いやりを持てるようになってきました。」「毎回楽しみにしている。」「毎月楽しみに通っている。」「いつもおむかえが来ると嬉しそうにしています。」「毎回嬉しい様子です（特に土曜日）。」「とても楽しみにしているし、いごこちがいいのがわかる。」「楽しみにしている。」「今はたまにしか通えていないが、本人が安心して楽しめているのがよくわかる。」「毎回たのしみにしています。」</p>
<p>⑱事業所の支援に満足しているか</p> <p>はい27 どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>意見 「親も同様にいつも楽しませてもらっています。」「異年齢、様々な障害の子たちとの触れ合いが、社会性を学ぶ機会となっています。思いやりを持てるようになってきました。」「伝達など、お忙しい中、こまめにしてくださり助かっています。」「いつも色々とお助けをもらい、本当にありがたく思います。こんなに子どもの事を安心して預けられるところはなかなかないのでは、と思います。」「平日の放課後等デイサービスの受け入れがもっと多くなればありがたいです。時間に合わせて学校に迎えに行ってもらうことはできないでしょうか。」「放課後等デイサービスが増えるとうれしいなと感じています。でも、現状、とてもよくしていただいているので、満足しています。」「とても助けられています。」「大変満足です。ひまわりに出会えて良かったと思っています。」「いつもありがとうございます。」「子供と先生が密なので安心です。また子供のみならず、勉強会にて情報や困り事の対処を今後も教わり続けたいです。」「小さい時から通っているの、子どものことをよく理解してもらっているの、安心です。予定の変更や時間にも対応してもらい助かりました。」「とても支えになっていて助かっています。」「今後はII部において学びの課題やテーマなど設けて、今よりさらに実りのある時間になると更に嬉しい。」「いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。」</p>

<回答の分析結果は表3の通り>・質問は5つの項目に別れていた、全部で18個の問い。

表2「保護者等からの放課後等デイサービス事業評価の集計結果」

( )内はパーセント

	はい	どちらともいえない	いいえ	未回答	合計
環境、体制整備 (①～③)	79 (97.6)	1 (1.2)	0 (0)	1 (1.2)	81 (100)
適切な支援の提供 (④～⑥)	67 (82.7)	14 (17.3)	0 (0)	0 (0)	81 (100)
保護者への説明等 (⑦～⑭)	203 (94.0)	13 (6.0)	0 (0)	0 (0)	216 (100)
非常時等の対応 (⑮～⑯)	53 (98.1)	1 (1.9)	0 (0)	0 (0)	54 (100)
満足度 (⑰～⑱)	52 (96.3)	2 (3.7)	0 (0)	0 (0)	54 (100)
合計	454 (93.4)	31 (6.4)	0 (0)	1 (0.2)	486 (100)

2. 事業所からの放課後等デイサービス事業（Ⅱ部）自己評価結果 職員 6人 回収数 6人 割合100 %

環境・体制整備

①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか はい5    どちらともいえない1    いいえ0 工夫して ・ I部と同じ施設を使用しています。 いる点 ・ 玄関から廊下は広く作ってあるので、子どもたちはよく走り回っています。全体的にかなりゆったりしていると思います。ベランダから外の広場や屋上へ出て遊ぶこともあります。出かける機会も多くなります。
②職員の配置数は適切であるか はい4    どちらともいえない2    いいえ0 工夫している点 ・ 土曜日や夏休みに一日に通う子どもの人数が多くなるので、大人的人数が少なくなることがあります。 改善点 ・ 必要に応じて、大人的人数を揃えられるようにします。
③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか はい4    どちらともいえない2    いいえ0 工夫して ・ 建物自体がバリアフリー化されています。 いる点 ・ ただ、大人の洋式トイレの入り口が狭いので、車椅子が入りにくいという問題があります。中学生や大きい子には狭いトイレになっています。

業務改善

④業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか はい5    どちらともいえない1    いいえ0 工夫して ・ 職員ミーティングを毎週1回行い、子どもの確認や業務の確認など、いろいろな情報の共有を行っています。改善すべきところは職員全員で取り組んでいます。ただ、Ⅱ部の子どもたちについては十分に話し合いがなされていない面があります。
⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか はい5    どちらともいえない1    いいえ0 工夫して ・ 昨年、放課後等デイサービスの評価を公表しました。「非常時の確認」の部分で改善が必要だったので、お母さんたちと一緒に救急救命研修と避難訓練をしました。
⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか はい6    どちらともいえない0    いいえ0    ・ I部と同じです。
⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか はい6    どちらともいえない0    いいえ0    ・ I部と同じです。
⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか はい6    どちらともいえない0    いいえ0    ・ I部と同じです。

適切な支援の提供

⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか はい6    どちらともいえない0    いいえ0 工夫して ・ 半年に1回、通ってきた日の子どもの様子を見たり、毎回の記録を読んだり、家から聞き取り（家での様子や主に通っている学校などの様子、希望など）をしったりして放課後等デイサービス計画を作成しています。
⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか はい6    どちらともいえない0    いいえ0    ・ I部と同じです。
⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか はい6    どちらともいえない0    いいえ0 工夫して ・ 一人ひとりについての当面の課題を基本にしつつ、Ⅱ部の担当になった職員たちとその日に通ってくる子どもたちとで相談して決めています。 いる点 ・ 土曜日は、I部の子とⅡ部の子が合同で過ごしています。土曜日の立案は職員みんなで決めています。
⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか はい5    どちらともいえない1    いいえ0 工夫して ・ 平日の放課後に利用する子どもの顔触れがどの日も違うことや、教室に来る機会が少ない(月1回の子もいる)ことや いる点 時間が短いことなどから、本人が同じような遊びを求めることが多く、それを尊重して過ごしています。時にははい

つもと違う設定を用意するなどして、変化をつけるようにもしています。
⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか はい3      どちらともいえない3      いいえ0 工夫して ・⑨⑩⑫と同じです。 いる点 ・土曜日は利用人数が多く、I部の子も交じっての集団活動（集団で遊びつつ、個別対応しています）です。長期休暇は、I部の子と一緒に参加する形をとっています。一人ひとりの課題を確認しながら支援していますが、応えきれていないこともあります。
⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで放課後等デイサービス計画を作成しているか はい6      どちらともいえない0      いいえ0      ・⑨⑩⑫⑬にあるように、計画を作成しています。
⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか はい6      どちらともいえない0      いいえ0 工夫して ・送迎後、職員が顔を合わせ、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しています。全員いるわけではないので、必要に応じて、確認したことをいない職員に電話連絡しています。
⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか はい2      どちらともいえない3      いいえ1 工夫して ・II部の支援終了時は職員が揃っていないため、支援の振り返りはできません。別の日に気づいた点などの確認をしています。
⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか はい6      どちらともいえない0      いいえ0 工夫して ・毎日の記録を取っています。その記録と家からの聞き取りをもとに、おおむね半年に1回、支援計画を作成しています。それをもとに保護者と話し、確認し合っています。
⑱定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか はい6      どちらともいえない0      いいえ0 工夫している点 ・⑩に書いたことに加え、見直しの必要な時には支援計画の見直しをしています。
⑲ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか はい6      どちらともいえない0      いいえ0      ・行っています。

#### 関係機関や保護者との連携

⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか はい6      どちらともいえない0      いいえ0 工夫している点 ・当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しています。
㉑学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか はい5      どちらともいえない1      いいえ0 工夫している点 ・学校との情報共有はあまりできていません。保護者との連絡で調整しています。
㉒医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか はい6      どちらともいえない0      いいえ0      ・I部と同じです。
㉓就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか はい2      どちらともいえない4      いいえ0 工夫して ・今のところ、以前ご利用していた所のことは、お母さんを通して情報を得ています。連絡を取る必要がある場合は いる点 連絡をしています。
㉔学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか はい5      どちらともいえない1      いいえ0 工夫している点 ・必要のある場合はしています。
㉕児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか はい3      どちらともいえない1      いいえ2 工夫して ・他にスーパーバイザーがいますので、基本的に受けていません。必要があれば、その時に考えていきます。 いる点 ・障害児通所支援事業所連絡会などの研修に参加しています。
㉖放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか

<p>はい5      どちらともいえない1      いいえ0</p> <p>工夫して いる点</p> <p>・放課後児童クラブとの交流はできていません（参加できない場合もある）が、いろいろな所にある児童館に出かけ ています。公園やショッピングセンターなどに出かけ、他の子どもたちと触れ合ったり、一緒に遊んだりする機会 を作っています。</p>
<p>⑳（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか</p> <p>はい0      どちらともいえない0      いいえ6</p>
<p>㉑日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか</p> <p>はい6      どちらともいえない0      いいえ0</p> <p>工夫して いる点</p> <p>・送迎時に話をしたり、連絡帳のやり取りをしてその日に合ったことなどを確認し合ったりしています。また、希望 のある場合、個人面談で話を聴いています。 ・月に1回、主にお母さんたちの参加する学習会を行っています。悩みなどを出される場合もあります。何かあった 場合はいつでも話を聴くと伝えてあります。 ・課題設定については、月に1回のみの子の利用の子の場合は、基本的な確認を共有して行っています。</p>
<p>㉒保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか</p> <p>はい6      どちらともいえない0      いいえ0</p> <p>工夫している点</p> <p>・I部と同じですが、II部の場合、I部程手厚くありませんが、㉑に書いたように気にかけています。</p>

#### 保護者への説明責任等

<p>⑳運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか</p> <p>はい6      どちらともいえない0      いいえ0      ・利用を開始する際に説明をしています。</p>
<p>㉑保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか</p> <p>はい6      どちらともいえない0      いいえ0</p> <p>工夫して いる点</p> <p>・㉑と同じです。 ・保護者からの子育ての悩みなどに対する相談があれば話を聴き必要な助言と支援を行っています。</p>
<p>㉒父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか</p> <p>はい4      どちらともいえない2      いいえ0</p> <p>工夫して いる点</p> <p>・I部の父母の会の活動・行事・学習会・父母合同学習会などに誘っています。お父さんたちにも参加していただ けるように、日曜日に行事を開催するようにしています。家族どうしの交わりのいい機会になっています。また、障 害のある人と家族の会「つながりの会」に誘うこともあります。参加した人たちと進路のことや、悩んでいること などを話し合っています。</p>
<p>㉓子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応しているか</p> <p>はい6      どちらともいえない0      いいえ0</p> <p>工夫して いる点</p> <p>・運営規定や重要事項説明書に書いてあり、利用開始時に説明をしています。運営規定は見える所に貼り出してあり ます。また、法人の方でも、第三者委員の名前を貼り出してあります。 ・何かあった場合はいつでも話を聴くと伝えてあります。希望がある場合に定期的に面接をしています。送迎時や、 連絡帳のやり取りなどで連絡し合っています。要望のある場合にはできる限り対応しています。</p>
<p>㉔定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか</p> <p>はい3      どちらともいえない1      いいえ2</p> <p>工夫して いる点</p> <p>・II部の子どもの保護者には日常的に会報は出していませんが、学習会のお知らせを出したり、毎月のII部の利用希 望を聞いたり、利用する日の送迎時間の確認などをする時に連絡事項を発信したりしています。 ・ひまわり教室全体で、2か月に1回「ひまわり教室だより」を発行しています。活動概要・行事予定・報告・その他 の情報などを発信しています。</p>
<p>㉕個人情報に十分注意しているか</p> <p>はい6      どちらともいえない0      いいえ0      ・情報の管理には注意しています。</p>
<p>㉖障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか</p> <p>はい5      どちらともいえない1      いいえ0      ・I部と同じです。</p>
<p>㉗事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか</p> <p>はい6      どちらともいえない0      いいえ0      ・I部と同じです。</p>

非常時等の対応

㉘緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか はい6      どちらともいえない0      いいえ0      ・I部と同じです。
㉙非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか はい6      どちらともいえない0      いいえ0 工夫して      ・避難訓練は子どもとお母さんたちと一緒に夏に行いました。同時に幼児用の心肺蘇生法講習会も行いました。冬休 いる点      みにII部の子どもたちも含んだ訓練を行いました。平日II部の訓練に関しては随時行います。
㊱虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか はい6      どちらともいえない0      いいえ0      ・I部と同じです。
㊲どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか はい6      どちらともいえない0      いいえ0      ・I部と同じです。
㊳食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか はい5      どちらともいえない1      いいえ0 工夫して      ・食物アレルギーのある子どもについては、お母さんからの聞き取りをし、対応しています。教室は給食の設備がな いる点      く、おやつもありません。弁当は家から持ってきたものを食べているので、弁当以外の物は食べないようにして います。医師の指示書が必要な子に対しては、指示書にもとづく対応をしていきます。
㊴ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか はい3      どちらともいえない1      いいえ2      ・I部と同じです。

<回答の分析結果は表4の通り>

表4「事業所からの放課後等デイサービス事業自己評価の集計結果」(6人分) ( )内はパーセント

	はい	どちらともいえない	いいえ	合計
環境、体制整備 (①～③)	13 (72.2)	5 (27.8)	0 (0.0)	18 (100)
業務改善 (④～⑧)	28 (93.3)	2 (6.7)	0 (0.0)	30 (100)
適切な支援の提供 (⑨～⑱)	58 (87.9)	7 (10.6)	1 (1.5)	66 (100)
関係機関や保護者との連携 (⑳～㉙)	44 (73.4)	8 (13.3)	8 (13.3)	60 (100)
保護者への説明責任等 (㉚～㉟)	42 (87.5)	4 (8.3)	2 (4.2)	48 (100)
非常時等の対応 (㊰～㊴)	32 (88.8)	2 (5.6)	2 (5.6)	36 (100)
合計	217 (84.1)	28 (10.9)	13 (5.0)	258 (100)

<放課後等デイサービス(II部)保護者評価について>

「非常時等の対応」の「はい」の回答率が昨年の 69.1%から 98.1%と大幅に増えました。これは昨年度のアンケート結果を踏まえて、今年度ははていねいな説明を心掛けてきたので、その結果が数字に表れたと言えます。

今後の課題にしたいと思う点について、簡単に記しておきます。「適切な支援の提供」で「どちらともいえない」の回答率が6.3%から17.9%へと大幅に増えていることです。とくにパーセントが大きかったのは「障害のない子とふれ合う機会」についての問いで、26.9%となっています。今年度もいろいろ取り組んできましたが、今後さらに工夫したいと思います。

今回のアンケート結果をしっかり受け止め、ひまわり教室が子どもや家族のみなさんにとってよりよいところになるように努めていこうと思います。

<放課後等デイサービス(II部)職員自己評価について>

II部についても、多くの領域で「はい」の回答が多くなっていますが、「平日・休日・長期休暇に応じた対応」については自己評価が分かれています。どこまですれば納得できるかという面があり、評価の難しいところです。「支援後の打ち合わせ」についても評価が分かれています。送りの終了時刻と退勤時刻がほぼ同じなので、ゆっくりとした打ち合わせはできません。ただ、後日職員間で必要事項の確認を行っています。

「他機関との情報共有等」については、担当者との職員で捉え方にずれが出てくるものと思われます。ただ、全体としてはそれほど密に連絡を取り合うわけではなく、「必要に応じて」ということになっています。

「障害のない子とふれ合う機会」については、今後さらに工夫したいと思います。また、II部の活動の便りを出すなどして、お知らせする機会を増やしていこうと思います。

# 外部評価委員評価結果公表

2020(令和2)年1月29日  
学校法人金城学園金城大学短期大学部  
幼児教育学科教授 中村 明成

## 1 児童発達支援事業

＜保護者からのアンケート結果について＞

- ・児童発達支援及び放課後デイサービスについて、全体的には、適切な支援が実施されていると考えられる。
- ・「環境・体制整備」及び「保護者への説明等」の項目では、前回と比較してそれぞれ「はい」の回答率が微増している。これは、事業所の重要事項説明書にも丁寧に記載されていて、保護者にもより十分に理解されていると考えられる。
- ・その一方で「適切な支援の提供」の項目については、「はい」の回答率が低くなった項目があった。これは、「障害のない子どもとのふれ合う機会について」の質問で、入室頃に、個別に近隣の保育施設への交流を継続しているためであり、あるお子さん（とその保護者）にとっては、まだ交流する機会が与えられていないことからくるものであると思われる。事業所内の支援内容と併せて十分検討したうえで、より積極的に、外部との交流を図る必要がある、その際にも、保護者へ支援体制を理解していただけるような努力が必要である。
- ・また非常時の体制についても、今年度保護者への丁寧な説明を心がけたことによって、理解が深まった結果になった。地震や豪雨災害など、今後も予期しない災害などが起こる可能性が高まってきている。まずは子どもの安全を第一に日頃から備えていく必要がある。

＜職員からのアンケート結果について＞

- ・児童発達支援及び放課後デイサービスについて、全体的には適切なサービスが提供されていると考えられる。
- ・環境体制整備、業務改善、適切な支援の提供の各項目について、概ね適切なサービスの提供が実施されていると思われる。今まで以上に、子どもに合わせた遊びや遊具の工夫を意識していきたい。
- ・子ども（及びその保護者）を第一にサービスを提供するためにも、職員間の密接な連携が不可欠であるが、支援内容や時間を弾力的にする中で、どうしてもミーティングやカンファレンスなどを実施する時間の確保が難しいという意見があった。今後の課題と思われる。

## 2 放課後等デイサービス事業

＜保護者からのアンケート結果について＞

- ・「非常時の対応」については、昨年度「はい」の回答率が低かったため、より丁寧に説明した結果、69.1%から98.1%へ大幅に上昇した。近年、様々な予期せぬ災害がいたるところで発生し、関心が高まっている中、「防災」が地域コミュニティのキーワードとなってきている。今後も、スタッフが地域の防災訓練などにも積極的に参画し、事業所の災害時の存在を周知していくなど、必要性が問われている。
- ・「適切な支援の提供」では、「どちらともいえない」の回答率が高くなっている。この質問で「いいえ」と回答することは、なかなか困難であると思われることから「どちらともいえない」については、よりマイナスな回答と位置付けなければならない。これについては、このサービスの実態として、利用回数が少ない利用者もいることから、保護者への説明がどうしても不十分になりがちな面があると思われる。少ない利用機会であっても、より丁寧な説明が求められる。特に「障害のない子どもとふれあう機会」の項目が25.9%と最も高くなっている。今後の課題にしたい。
- ・ただ、この項目の自由記述でこのようなものがあった。「この評価表は、児童館や障害のない子どもの団体についても評価する機会があるのか。障害のある施設にだけこのような評価を求めるのはおかしいのではないか」という意見が添えられていた。昨今の「インクルーシブ社会」の理念からすると、もっともな意見である。事業所として受け止めていかなければいけないものとする。
- ・保護者からの意見を集約して、書類などでの丁寧な説明はもとより、日々子どもを中心としたかかわりのなかで、保護者とスタッフとの関係を密にすることが、より事業所との関係を良好にしていくと考えられる。

＜職員からのアンケート結果について＞

- ・児童発達支援を利用する子どもと、時間・場所を共有することが多くなる土曜日や学校の休みの期間について、職員不足を懸念する意見があった。昨今の児童の福祉サービス提供機関の現状として、どこも人手不足を挙げ



ているが、今後の課題としたい。

- ・児童発達支援と併せて、「ヒヤリハット」の事例も職員間で共通理解ができる体制を整えることが望まれる。

### 3 全体を通しての意見

- ・本事業所は、個別に配慮が必要な様々な子ども（利用者）をサービスしている。保護者も含めて、子どもの一生の幸せにつながるような「生きるチカラ」を支えていくために、今後とも支援内容の向上に努めてほしい。